

スピーキング評価基準

段階評価	流暢さと一貫性	語彙力	文法知識と正確さ	発音
9	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返しや言い直しをほぼすることなく流暢に話し、言いよどむ際は、言葉や文法を考えるとより、内容が理由の場合のみである。 最も適切な接続詞を使用して理路整然と話することができる テーマを幅広く適切に展開できる 	<ul style="list-style-type: none"> 全てのテーマにおいて、非常に柔軟かつ正確に語彙を使用できる 熟語を自然かつ正確に使用できる 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な構文を自然にかつ適切に使いこなすことができる ネイティブスピーカーの会話に見られるような「うっかり」を除き、総じて正確な構文が使用できる 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い発音の特性を正確かつ巧妙に使用できる 特性を一貫して柔軟に使用できる 無理なく理解できる
8	<ul style="list-style-type: none"> 時折繰り返しや言い直しをするが流暢に話し、言いよどむ際は、言葉や文法を考えるとより、内容が理由の場合のみである。 テーマを理路整然と適切に展開できる 	<ul style="list-style-type: none"> 正確な意味を伝達するために幅広い語彙をすぐに柔軟に使用できる 不正確さも散見されるが、一般的でない熟語もうまく使いこなすことができる 必要に応じ言い換えができる 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な構文を柔軟に使用できる 不適切さや軽微な／非体系的な間違いがまれに見られるが、総じて間違いのない文章を話すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い発音の特性を使用できる 特性を柔軟に使用できるが、時おりうっかり間違えることもある 無理なく理解でき、L1 アクセントが明瞭さに与える影響はほぼない
7	<ul style="list-style-type: none"> 目立った努力を行わずもしくは一貫性を失わずに詳細に話すことができる 言葉が理由で時折言いよどむことがあり、繰り返しや言い直しがある 幅広い連結詞や談話標識（文と文との論理的関係を示すことば）を柔軟に使用できる 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なテーマを論じる際に柔軟に語彙を使用できる 一般的でない熟語も使用でき、表現や単語同士の組み合わせにも配慮できるが、不適切な選択をする場合もある 必要に応じ効果的に言い換えを行える 	<ul style="list-style-type: none"> ある程度の柔軟性を持って幅広い複雑な構文を使用できる 間違いの全くない文章を話せることも多いが、文法エラーは依然として存在する 	<ul style="list-style-type: none"> バンド6の全てのプラスの特徴と、バンド8のプラスの特徴を部分的に備えている
6	<ul style="list-style-type: none"> 時折繰り返し、言い直し、ためらいが見られ、そのため一貫性を失うことがあるもの、すすんで詳細に話す 幅広い連結詞や談話標識を使用できるが、不適切な使用もある 	<ul style="list-style-type: none"> テーマについて詳細に論じることができる幅広い語彙力を持っており、不適切な場合でも意味を明確にすることができる 概ね正しく言い換えができる 	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟性に欠けるが、簡単な構文と複雑な構文の両方を使用できる 複雑な構文では間違いも多いが、理解に支障の出るようなことはめったにない 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い発音の特性を使用できるが、コントロールは不安定 特性を効果的に使用できる場合もあるが、一定していない 概ね理解しやすいが、個々の単語の発音の間違いや不明瞭な音が時おり混じる
5	<ul style="list-style-type: none"> 通常は途切れることなく話せるが、繰り返し、言い直しや、ためらいが見られ、かつ／または、話し続けようとするスピードが落ちる 特定の連結詞や談話標識を過度に使用する 簡単な話は流暢だが、複雑なコミュニケーションとなると流暢さに問題がみられる 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なテーマ、そうでないテーマについても話すことができるが、語彙の使用は柔軟性に欠ける 言い換えが正しくできるときとそうでないときがある 	<ul style="list-style-type: none"> ある程度の正確さで基本的な構文を作成できる 複雑な構文の使用は限定的で、たいてい間違いが含まれており、理解の障害となることもある 	<ul style="list-style-type: none"> バンド4の全てのプラスの特徴と、バンド6のプラスの特徴を部分的に備えている
4	<ul style="list-style-type: none"> 顕著な間隔なしには受け答えができず、話す速度が遅く、繰り返しや言い直しが多々ある 基本的な文章をつなげることができるが、簡単な連結詞を多用し、一貫性が維持できない 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なテーマについては話すことができるが、そうでないテーマは基本的な意味のみ伝えることができ、言葉の選択にも間違いが多い 言い換えはめったにしない 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な構文を作成でき、単純な文章には間違いがないが、複文構成はめったにない 間違いも多く、誤解につながることもある 	<ul style="list-style-type: none"> 発音の特性の使用は限定的 特性をコントロールしようとするが、よく失敗する 発音の間違いが多く、聞き取りが困難な場合もある
3	<ul style="list-style-type: none"> 途切れ途切れに話す 簡単な文章をつなげる能力に限界がある 簡単な受け答えのみができ、基本的なメッセージを伝えることさえもできないことが往々にしてある 	<ul style="list-style-type: none"> 個人的情報を伝える際に簡単な語彙を使用できる 余り身近でないテーマについては、語彙不足である 	<ul style="list-style-type: none"> 基本構文を試みても困難であったり、明らかにうる覚えの表現に頼ってしまう 暗記表現以外は、間違いが非常に多い 	<ul style="list-style-type: none"> バンド2のいくつかの特徴と、バンド4のプラスの特徴を部分的に備えている
2	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の前にたいてい長い間隔があく コミュニケーションがほとんど取れない 	<ul style="list-style-type: none"> 片言もしくは覚えたい言葉のみを話す 	<ul style="list-style-type: none"> 基本構文を作成できない 	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉が不明瞭なことが多い
1	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションが全く取れない 評価できる言語を発しない 			
0	<ul style="list-style-type: none"> 受験をしていない 			

IELTSは、British Council、IDP：IELTS Australia、Cambridge English Language Assessmentの共同所有です。